

一 般 質 問 通 告 書

令和 7 年 2 月 2 7 日

高島市議会議長 河越 安実治 様

高島市議会議員 9 番 是永 宙

次の事項について質問いたしたいので通告します。

※質問項目（番号）が 2 以上ある場合は、次のどちらかに○をつけてください。

- ・ 質問番号 1 の用紙にだけご記入ください。
- ・ 質問が一つだけの場合は必然的に 1 となりますので、記入は不要です。

初問は { 1. 全項目一括質問一括答弁
②. 項目ごとに一括質問一括答弁

(質問番号 1) 発 言 事 項	開発行為にあたって環境配慮ができているか
要 旨 (項目だけでなく、質問の趣旨が理解できるように記入してください。)	
高島市は、琵琶湖と山と森林に囲まれた自然豊かな地域です。特に、山から流れる川や湧水による豊富な水によって、多くの生き物が育まれる湿地環境が形成されています。それらの環境は希少な生物の宝庫でもあり、生物多様性の豊かな地域として注目され、地域住民による生物調査や観察会なども盛んに実施されています。 この豊かな自然環境の中であって、マキノ町西浜地先の湿地は環境省レッドリストおよび滋賀県レッドデータブックに掲載された複数の種を含む希少な生物が生息しており、かつ、滋賀県内でも特別なエリアだということが研究者の間でも広く知られています。この地域が圃場整備されずに水田や用水路が昔のままの状態で行われており、用水路が琵琶湖とつながっていたことで魚類の行き来が阻害されず、生物にとって良好な湿地環境が保たれ、ニゴロブナやナマズなどの産卵も確認されています。つまり稲作という人の営みによって成立した里山環境なのです。この地域については、「高島市海津・西浜・知内の水辺景観」保存活用事業報告書にも記載があ	

り、重要的文化的景観にも関連する重要な地域になります。

しかし、良好な湿地の環境はこの数十年で大きく悪化しました。耕作放棄地が増え、用水路も人の手が入らなくなった結果、以前は見られていたカキツバタ群落もほぼ消滅し、陸地化を進めるハンノキなどの樹木も増え、それまで湿地環境を好んで生息していた植物・昆虫・魚類・両生類などの生き物も著しく数を減らしています。研究者や地域の生物愛好家の方が、状況を憂慮され保全活動をされておられましたが、私有地ということもあり保全活動も思うように進んでいませんでした。

このように、湿地環境の保全が十分とは言えない状況下において、今般、この地域に近接する場所で湖北バイパス整備計画や、産業用地開発の計画が具体化しています。通常、これらの開発行為は環境に対してはマイナス面に働いてしまいましたが、環境への配慮を怠らなければ湿地環境の回復・再生に繋げることができると考えています。

湖北バイパス事業や産業用地計画については、計画自体に反対するものではありませんが、重要な湿地環境の近隣に位置するという地理的な条件から、開発を進めるうえで環境への配慮が特に必要と考えます。

また、環境省は、生物多様性の保全区域を拡大していく目的で「自然共生サイト」を認定する取り組みを2023年から始めており、2025年4月には、ネイチャーポジティブの実現（自然を回復軌道に乗せるために生物多様性の損失を止め反転させること）を法制化した地域生物多様性増進法も施行されます。自然共生サイトの認定は、2030年までに国土の陸域・海域それぞれの30%で生態系を保全する「30by30」という国際目標を達成するため、国が新たに始めた制度になります。民間企業にとっても環境保全活動への参画することによって企業イメージのアップを図れるだけでなく、TNFD（自然関連財務情報開示タスクフォース）の流れもあって、生物多様性や自然資本の重要性が高まっていることから、「自然共生サイト」の認定などの生物多様性を増進する活動に積極的に取り組む企業がさらに増えていくと考えられます。

これらのことを踏まえ、以下、問います。

問1 湖北バイパス事業や滋賀県の産業用地の計画実施による、西浜地先の湿地環境への影響についてどのように考えているか、見解を問う。

問2 バイパス建設や産業用地の計画実施において、環境に配慮した施工が必要と考えるが、見解を問う。

問3 高島市は第2次総合計画の中でも高島の豊かな自然環境を「たかしまのたからもの」と位置づけ、『魅力を守り、活用し、発展させていくことが、次世代に向けての責任』としている。また3月定例会の市長の所信表明でも「先人から引き継いだ美しい水や景観等の自然環境などを世界に誇る高島の宝として保全し、活用する」とも述べられている。開発行為が伴う企業誘致の際に、環境への配慮についてどのように考えているか見解を問う。

問4 自然共生サイトの認定とはどのような制度か、また認定されることによる地域などへのメリットについての見解を問う。

問5 自然共生サイトの手法をつかって、産業用地周辺の湿地の保全を進めてはどうかと考えるが見解を問う。